

今年は 天候不順の多い中でしたが、暖かな陽射しをいっぱい受け、保育園の下の
電車の桜並木も すっかり満開になりました。1年前、ピンク色の美しいトンネルを
お母さんと手を繋ぎ、おぼつかない足取りで一生懸命に歩いて来た ねこ組の子どもや、
お家の人におんぶや抱っこをされたまま すやすや眠りながら登園していた りす組の
子ども達、また 慣らし保育の期間、数時間後のお迎えまで お母さんを待ちきれずに
門の前で桜並木に向かって泣き叫んでいた 新入児達の切ない涙顔を 思い出しました。
今では 自分からお母さんの手を放し、たくましく階段を上るしっかりとした足取り、
お家の人よりも先にひとりで玄関までの道を全速力で走って来る明るい笑顔や笑い声、
「お仕事 頑張ってるね！」とハイタッチをしながら元気なエールと共に見送っている姿、
夕方のお迎えが「早すぎる！」とお家の人に向かって怒ったり 泣き出したりしている
様子などに、いつの間に こんなに頼もしくなったのだろうと、身体以上に心の成長の
素晴らしさを実感し、改めて感動を覚えながら 微笑ましく見守っていたこの頃でした。
時の移り変りの速さに驚きながらも、子ども達は皆 ひとりひとり それぞれの歩幅で、
確実に前進し、ひとまわりも ふたまわりも大きくなりました。廻りくる季節とともに
新しく訪れる日々を 心待ちにしている子ども達は皆、新たな夢と希望に輝いています。

つのぶえ保育園を通して、今年1年も 貴い素晴らしい出会いを与えられましたこと
そして たくさんの温かいお支えとお祈りを頂きましたこと、心より感謝申し上げます。
お蔭様をもちまして、皆様のお心と 神様のあふれる祝福の中、2017年度の歩みを
こうして無事に終わられますこと、重ねてお礼申し上げます。愛する子ども達と共に
刻んできたひと時ひと時、笑顔、涙、そのすべてが、保育園にとりましても 私自身に
とりましても、かけがえのない大切な大切な宝物であり 永遠に輝き続ける思い出です。

また明日30日(金)には、いるか組の16名の子ども達がいよいよ巣立っていきます。
本当に可愛いくてたまらない子ども達でした。心の清らかな いつでも元気いっぱいの
皆と一緒に過ごしてきた毎日は 様々な出来事が盛り沢山!で、本当に楽しかったです。
明日は、ひとりひとりがこれから進み行く道に 神様の豊かな祝福と導きを祈りながら
心からありがたうの気持ちを込め、思いきりの笑顔で明るく送り出したいと思います。
在園の皆様には お休みについての御理解と御協力を頂きまして 感謝致します。

いるか組16名の 輝かしい門出の時を お祝いと共に どうかお祈り頂ければ幸いです。

また今月末日付にて、以下のスタッフが 退職します。感謝をもってご報告します。

- ★ 瀧澤 のぞみ 保育士 (6年)
- ★ 中澤 のり子 保育士 (3年6か月)
- ★ 片岡 栞 栄養士 兼 調理師 (2年)
- ★ 薄井 郁 保育士 (2年)
- ★ 神田 美穂 保育士 (2年)
- ★ 飯田 正美 保育助手 (7か月)

それぞれが、一人の人として、保育者として、また 保育を支える給食のスタッフとして、
懸命に誠実に業務に励まれる中に在って、子ども達と真剣に生きる“保育現場”という
真摯な場所で、その楽しさや喜び以上に厳しさや難しさも痛感し、学ばれたと思います。
つのぶえを通して与えられた出会いは決して偶然ではなく神様の御旨による必然です。
これまで、共に過ごし 共に分かち合えた日々心から感謝し、これからの新たな力に
変え、それぞれの場で互いに 神様の祝福と愛を祈り合う者で在りたいと願っています。

新年度もまた、一同 新たな想いで 心を合わせ祈りを合わせながら 子ども達と共に
成長できますよう、精一杯 尽力いたしますので どうぞ よろしくお祈り申し上げます。

間もなく迎えようとしております イースター(イエス・キリストの復活)を感謝し
主イエス・キリストの大いなる愛が 皆様の上に豊かに注がれますようお祈り致します。
改めまして、皆様、今年度1年、ほんとうに ありがとうございます。(石田 記)

『見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。(マタイ 28:20)』